

【 調査結果の概要 】

生徒の傾向

1 生徒の社会への関心や規範意識に関すること

- ・「地域の歴史や自然に関心がある」のは19.6%。「地域の行事に参加している」のは21.1%。
- ・触法行為に対する規範意識は高く、公衆のマナーや校則に関わる行為に対する規範意識は低くなる傾向。
 (「してはならない」の回答率:「ドラッグを使用すること」91.1%、「駅やコンビニで座り込む」62.1%、「髪を変形したり、制服をだらしなく着る」38.4%)

2 学校や家庭での生活に関すること

- ・入学したかった学校に入学している生徒は81.1%で、楽しく高校生活を過ごしている生徒は、73.0%。
- ・将来の「明確な目標がある」生徒は27.6%。「何となくもっている」のは35.8%。
- ・平日に1時間以上家庭学習をしている生徒は25.7%で、家庭学習をほとんどしていない生徒は46.4%。
- ・「勉強や成績」や「進路のこと」を不安視している生徒は、それぞれ、76.8%、74.1%。

生徒及び保護者の傾向比較

3 学校(運営)や先生に望むこと

* 「(とても)重要・満足」と回答した割合

学校での教育活動	生徒		保護者	
	重要度	満足度	重要度	満足度
授業の進め方	92.7%	60.5%	91.7%	72.8%
友人との(生徒同士の)人間関係	93.1%	85.4%	95.8%	84.0%
個々の理解度に応じた学習	87.4%	40.7%	91.8%	58.2%
進路希望に応じた学習	90.5%	52.1%	94.3%	67.1%
いろいろな技能や資格の取得機会	83.8%	52.2%	88.3%	53.4%
将来の生き方や進路について考える学習	84.2%	57.8%	92.5%	59.4%
社会の決まりやルール、マナーについて考える学習	81.0%	59.3%	92.5%	67.1%
学校の教育目標や進路状況などの情報提供			94.2%	72.4%

- ・生徒は、「個々の理解度に応じた学習」や「進路希望に応じた学習」などのニーズが高い。
- ・保護者は、「個々の理解度に応じた学習」や「いろいろな技能や資格の取得機会」、「将来の生き方や進路について考える学習」などのニーズが高い。

4 高校入試に関すること

* 「よく(だいたい)理解していた」と回答した割合

	生徒	保護者
受検校の特色	70.3%	82.2%

* 「(どちらかといえば)よい」と回答した割合

		生徒	保護者
特色選抜について	受検機会が増えること	85.1%	86.6%
	面接、小論文等も評価されること	77.8%	83.4%
	学校により受検科目・内容が異なること	78.8%	80.4%
	同一校においても、特色と一般の受検科目・内容が異なること	72.8%	68.4%
	競争率が高くなる学校に偏りが出ること	53.3%	41.5%

保護者の傾向

5 子育てに関すること

- ・「子どもの思いをよく理解しようと心がけてきた」保護者は89.5%。「子どもと一緒に夕食をとるようにしてきた」保護者は88.6%。「忙しくて、子どものことに手がまわらなかった」保護者は29.8%。

調査結果より

小・中学生と同様、社会や地域への関心が乏しく、規範意識が低いことから、幼・小・中・高の一貫した社会性の育成や規範意識の向上が必要。
 生徒の家庭学習の習慣付け、生徒の実態に応じた授業の進め方の一層の工夫が必要。
 各生徒の進路実現に向け、キャリア教育のさらなる充実が必要。
 生徒、保護者ともに、高校の特色を理解し、特色選抜を概ね評価。学校による競争率の偏りが課題。